



平成 29 年 11 月 15 日

中部地方整備局 道路部計画調整課

飯田国道事務所

中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス 道の駅「南アルプスむら長谷」を拠点とした自動運転サービス 第 1 回地域実験協議会を開催します

国土交通省では、高齢化が進行する中山間地域における人流・物流の確保のため、道の駅など地域の拠点を核とする自動運転サービスの導入を目指し、全国13箇所で順次実験を開始しているところです。

主にビジネスモデルの検討を行うための道の駅(公募型)として選定された長野県伊那市の道の駅「南アルプスむら長谷」を拠点とした自動運転サービス実証実験(中部地方初)の実施に向けて、「地域実験協議会」を設置し、その第 1 回会合を開催します。

■協議会の設置趣旨

道の駅「南アルプスむら長谷」を拠点とした自動運転サービス実証実験を円滑かつ効果的に実施するため、実験実施計画の検討、実験の実施及び実験結果の検証等を行うことを目的とする。

1. 日時 平成29年11月17日(金)13:30~15:00(予定)
2. 場所 伊那市長谷総合支所 大会議室
3. 議事 ①挨拶(伊那市長)
②実証実験の概要
③その他 など

※報道機関の取材・撮影は会議冒頭のカメラ撮りが可能です。①挨拶②実証実験の概要のみ公開とします。また、会議終了後にフリーングを予定しております。ご理解、ご協力のほどお願いします。

※本実験は、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)のプロジェクトの1つとして実施するものです。<http://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/>

配布先

中部地方整備局記者クラブ、長野県庁会見場、飯田市役所記者クラブ、伊那市役所記者クラブ

問い合わせ先

中部地方整備局 道路部 計画調整課

課長 兵藤 真 課長補佐 平井 親一

TEL 052-953-8171 FAX 052-953-9180

飯田国道事務所

副所長 二村 隆之 計画課長 岡本 由仁

TEL 0265-53-7200 FAX 0265-53-7210

道の駅「南アルプスむら長谷」を拠点とした自動運転サービス
地域実験協議会委員等名簿(案)

委員	所属
金森 亮	名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ領域 特任准教授
下里 巖	長野県 建設部 道路管理課 課長
臼田 敦	長野県 建設部 道路建設課 課長
高橋 智嗣	長野県 伊那建設事務所 所長
飯島 智	伊那市 企画部 部長
伊藤 博徳	伊那市 市民生活部 部長
田中 章	伊那市 商工観光部 部長
山崎 大行	伊那市 建設部 部長
有賀 賢治	伊那市 長谷総合支所長
倉科 邦彦	長野県警察本部 交通部 首席参事官兼交通企画課 課長
辰野 学	長野県警察本部 交通部 交通規制課 課長
熊谷 猛彦	長野県警察 伊那警察署 署長
吉田 洋介	「道の駅」南アルプスむら 長谷 管理組合長
伊藤 稔	長谷地域協議会長
藤澤 洋二	伊那バス株式会社 代表取締役社長
名和 進	JRバス関東株式会社 中央道支店長
白川 光朗	有限会社白川タクシー 代表取締役社長
春日 裕	高遠観光タクシー有限公司 代表取締役
中村 忠人	伊那市観光協会事務局長
御子柴 泰人	伊那市社会福祉協議会事務局長
林 泰弘	伊那郵便局 局長
青木 啓二	先進モビリティ(株)代表取締役社長 (実験車両協力者)
山本 道治	愛知製鋼株式会社 スマートカンパニー センサ事業室 室長
和賀 正光	国土交通省 中部地方整備局 道路部 道路調査官
中平 浩文	国土交通省 中部地方整備局 飯田国道事務所 所長
吉田 守利	国土交通省 北陸信越運輸局 自動車技術安全部技術課 課長
松本 昭弘	国土交通省 北陸信越運輸局 長野運輸支局長
桐山 孝晴	国土交通省 国土技術政策総合研究所道路交通研究部 道路研究官

《「道の駅」の概要》

- 設置者：伊那市
- 所在地：長野県伊那市長谷非持1400番地
- 路線名：一般国道152号
- 道路管理者：長野県
- 整備手法：単独型
- 供用：平成9年4月

《全景写真》



《位置図》



《観光案内所》



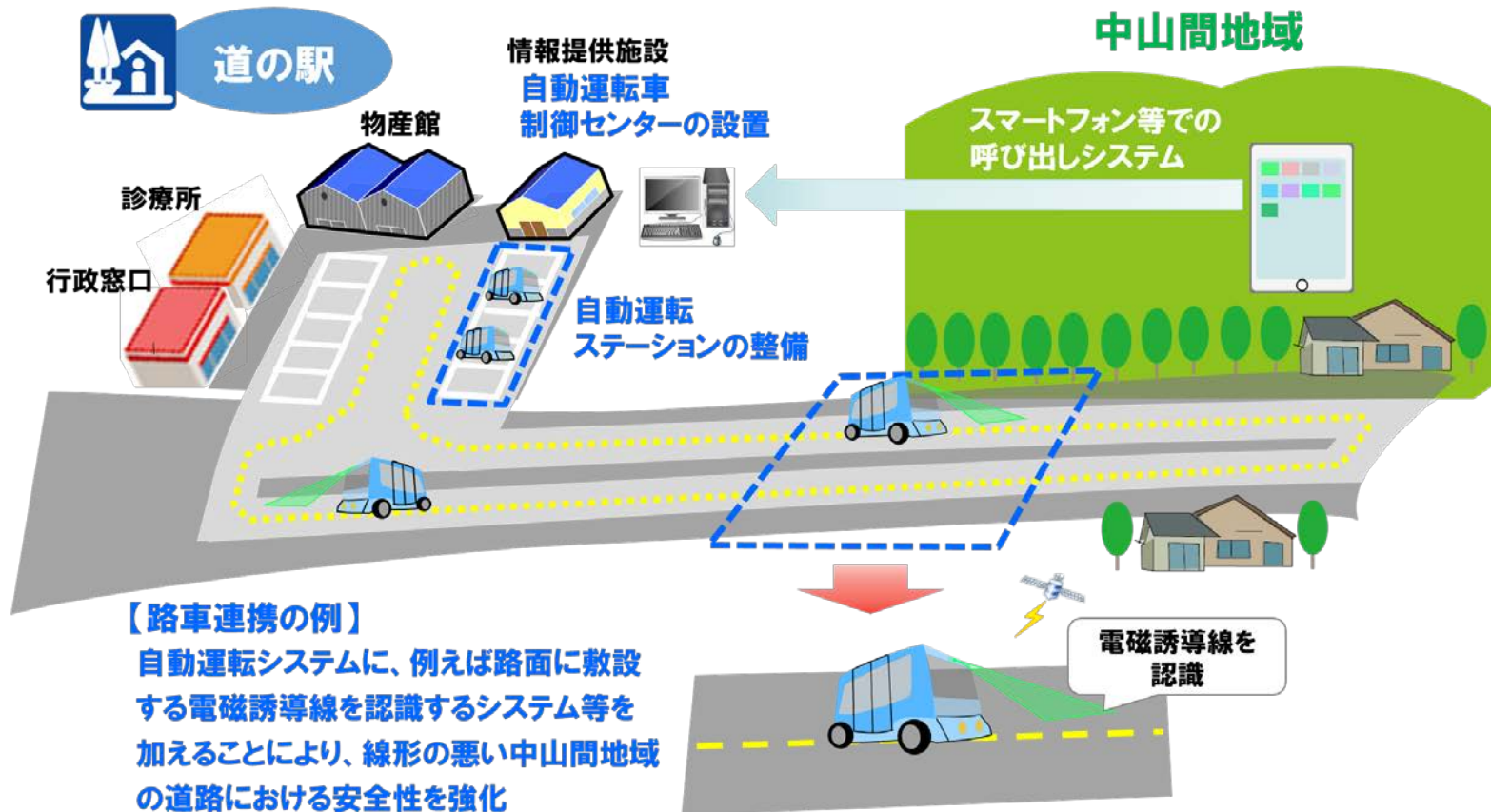
南アルプス長谷の観光案内所

《物産スペース》



地元の生産物展示販売

● 高齢化が進行する中山間地域において、人流・物流を確保するため、「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスを路車連携で社会実験・実装する。



物流の確保
(宅配便・農産物の集出荷等)

貨客混載

生活の足の確保
(買物・病院、公共サービス等)

地域の活性化
(観光・働く場の創造等)

全国13箇所で順次実験開始(9/2~)